

令和2年6月24日

～石川県高野連の大会に向けての具体策について～

石川県高等学校野球連盟

いつも石川県の高校野球に対して、ご理解とご支援いただき、誠にありがとうございます。第102回全国高等学校野球選手権大会並びに同選手権石川大会が中止となり、高校球児はもちろん、高校球児を取り巻く関係者も計り知れないショックを受けたものと思います。しかしながら、石川県教育委員会をはじめ関係団体のご理解とご支援を受けて、おかげさまで7月11日（土）から8月9日（日）まで石川県高等学校野球大会（令和2年度夏季）が開催できることとなりました。私たち、石川県高野連では、「球児のためにどんな形でも石川県の独自大会を行う」という強い思いで、まだまだ不安がございますが、準備を進めさせていただいております。そこで、石川県高野連としては「高校球児が主役であることを忘れず、感染防止対策を施した中での夏の石川県大会」を運営していくことを6月22日に行われました第2回理事会・理事研究協議会で全加盟校の理事の先生方と確認いたしました。

その中で加盟校の野球部員の保護者の方々には、大変に恐縮でございますが、ご理解いただかなければならないことがありますのでお伝えします。

石川県高野連が今大会を運営する基本方針についてお知らせします。以下の通りでございます。

大会の方針 → 様々なリスクを減らす取り組みをした上での独自の県大会の開催

- ① 球場での「密」を防ぐこと
- ② 球場までの移動のリスク
- ③ 熱中症のリスク
- ④ 体力の低下や実践不足による怪我の恐れ
- ⑤ 運営役員や医療スタッフなどの人員確保と大会関係者の感染対策
- ⑥ 野球部員の学習機会の確保

(1) 球場の「密」を防ぐことについて（…①）

- ア 1日各球場での試合を原則2試合とする。
- イ 試合時間を1試合目9時、2試合目15時とする。
(球場の入れ替えと消毒作業のため)
- ウ 大会に関わる役員、審判員、報道関係者の数を最小限にする。
- エ 試合後のミーティングなどは球場の周りでは行わない。

以上のように日本高野連および石川県高野連が策定したガイドラインに従って感染防止対策を実施します。できる限り、球場敷地内での試合に係る人数を極力少なくして安心して安全に県大会を実施したいと考えております。来場者を減らすために保護者の入場を制限しないと球場内外の密を回避することができないのではないかと判断しました。

(2) 球場までの移動のリスクについて (…②)

移動のリスクについてであります。6月19日に、県をまたぐ移動が解禁となり、それとともに「コロナ第2波」を警戒しなければならない状況です。各校での練習試合においても保護者の入場が認められていない学校も多々あるのが現状です。まだまだ厳戒態勢の中での対外試合を行っているのが現状であり、大会で保護者を入れることについては慎重な判断が必要となります。またスタンドで多方面から来られる方が一堂に会してしまうと感染のリスクは高まります。そこで、感染者が出てしまうと約1か月間予定されている県大会を中止せざるを得ません。甲子園が中止になり傷を抱えている生徒たちがこれ以上、辛くて悲しい思いをしなくてよいように、感染リスクを軽減して県大会を行いたいと考えています。以上の理由から保護者の入場を制限するという判断をしました。

(3) 熱中症のリスクについて (…③)

選手に対してはさまざまな対策をとりますが、スタンドの保護者に対してはリスクを排除することが難しいと判断しました。

(4) 運営役員や医療スタッフなどの人員確保と大会関係者の感染対策 (…⑤)

医療スタッフの確保が例年のような形でできていません。特に理学療法士の派遣は9月まで認められておらず、試合中の選手の対応だけで正直、精一杯の状態です。熱中症のリスクについても例年以上に警戒しています。スタンドの観客で緊急な処置が必要になった場合に試合中の選手への対応が難しい現実が考えられます。そのため、保護者の方の入場を制限させていただき、選手たちが安心して、安全な形で大会に挑める環境を作らせていただきたいと思います。

上記の理由から、石川県高野連の役員会、理事会で協議した結果、「**球児が主役であることを忘れず、感染対策を施した夏の石川県大会**」を安心して安全に、地区予選から決勝戦まで開催できるように、**今大会を控え部員・女子マネージャーのみの観戦を認める「無観客」での開催とすることといたしました。大変に苦渋な決断となりますが、保護者の皆様のご入場を控えていただくこととしました。石川県高野連の趣旨と取り組みにご理解とご協力くださるよう宜しくお願いいたします。**

ここまで高校球児を毎日支えていただいていた保護者の皆様の気持ちを考えると**断腸の思いですが**、上記のような趣旨をご理解いただき、球児のためにご協力をお願いします。

高校球児にとっては夢である「夏の甲子園大会」が中止となりました。まだまだ高校球児の心の傷は消えませんが、この夏の石川県高等学校野球大会（令和2年度夏季）を是が非でも感染者を出さず、熱中症での救急搬送者を出すことなく、成功させてやらねばなりません。石川県の高校球児のために、大人が協力して大会を成功させましょう。重ね重ねとなりますが保護者の皆様、県民の皆様、ご理解とご協力の程、よろしくご祈りいたします。

なお、今大会は北陸朝日放送様、朝日新聞金沢総局様、北國新聞社様をはじめ、地元のテレビ局、ケーブルテレビ、ラジオ局、新聞社様のご協力により、3つの地区予選からテレビ中継、インターネット配信で全試合をライブ中継することとなりました。また、例年以上に新聞各紙においては取材を充実して報道してもらったこととなりました。ここまで環境が整うのはすべての都道府県の中でもわずかな環境であります。様々な媒体を通して、高校球児の応援をしていただければと思います。よろしく申し上げます。